

全国都道府県対抗 e スポーツ選手権 2020

KAGOSHIMA

グランツーリスモSPORT：レギュレーション

Ver.1.05 (2020/07/08 更新)

[更新内容]

Ver.1.05 (2020/07/08 更新)

ブロック代表決定戦レース時の、サイドプレスペナルティを「なし」から「あり」に変更しました。(4.3.4.項 予選レース・敗者復活レースのレギュレーション / 4.3.5.項 決勝レースのレギュレーション)

4.3.8. レース実施日の変更が発生する場合について を追加しました。

Ver.1.04 (2020/06/19 更新)

ブロック代表決定戦の開催日時を追加しました。(1.2.2.項 ブロック代表決定戦の開催概要)

ブロック代表決定戦レース時の、レースの再スタート規定を追加しました。(4.3.7.項 オンラインレースにおけるレースの再スタートについて)

ブロック代表決定戦レース時の、フラッグルールを「オフ」から「オン」に変更 (4.3.4.項 予選レース・敗者復活レースのレギュレーション、4.3.5.項 決勝レースのレギュレーション)

Ver.1.03 (2020/05/29 更新)

【ブロック代表決定戦、鹿児島県 特別予選大会の変更について】

全国 8 地域 + 鹿児島県 特別予選大会での開催を予定しておりましたが、ブロック代表決定戦はオンライン(スポーツモードを利用)での開催に決定いたしました。

それに伴いまして、ブロック代表決定戦(九州・沖縄ブロック)と鹿児島県 特別予選大会を合併し、開催いたします。

また、ブロック代表決定戦(九州・沖縄ブロック)と、鹿児島県 特別予選大会の合併に伴いまして、以下の変更を行いました。

ブロック代表決定戦(九州・沖縄ブロック)にて、九州・沖縄ブロックからの本大会選出者(一般の部 2 名、少年の部 1 名)に加え、鹿児島県代表選手の中で最上位となった選手を、鹿児島県特別枠として、各部門 1 名ずつ本大会に選出します。選出基準は、九州・沖縄ブロックの代表権が優先となりますので、仮に一般の部において鹿児島県代表の選手が 1~2 位に入った場合、その選手は九州・沖縄ブロックの代表として選出され、3 位以下の鹿児島県代表選手の中での最上位選手が鹿児島県特別枠を獲得します。

都道府県予選(鹿児島県)の予選通過者：一般の部 2 名 少年の部 3 名から、一般の部 3 名 少年の部 4 名に変更します。

予選レース：部門別に参加者を 11 名と 10 名の 2 グループに分け、それぞれレースを 1 回行います。各グループ上位 5 名が決勝レースに進出し、下位 5~6 名が、敗者復活レースに進出します。

敗者復活レース：各ブロック、部門別に予選レースの各グループ下位 5～6 名、計 11 名でレースを実施し、上位 2 名が決勝レースに進出します。

【ブロック代表決定戦のレギュレーションについて】

ブロック代表決定戦のレギュレーションについて下記の変更を行いました。

- ・予選レース・敗者復活レースのグリッド順をレース前の予選で決定する形に変更
- ・レース前の予選時のタイヤの摩耗を「なし」から「3 倍」に変更
- ・レース前の予選を「2 周」から「10 分間」に変更

【オンライン ID の取扱いについて】

オンライン ID の取扱いについて、以下の内容を追記しました。

- ・ブロック代表決定戦においては、参加者のオンライン ID が同じレースに参加する他の参加者および運営組織にのみ開示されることを追記
- ・参加者および保護者等は、ブロック代表決定戦少年の部の他の参加者のオンライン ID を SNS や配信などで公開することを禁止することを追記。

1. レギュレーションについて

この全国都道府県対抗 e スポーツ選手権 2020 KAGOSHIMA グランツーリスモSPORT：レギュレーション（以下、「当レギュレーション」）は、2020 年 3 月 21 日から開催される全国都道府県対抗 e スポーツ選手権 2020 KAGOSHIMA グランツーリスモSPORT（以下、「当大会」）に参加するすべての選手（以下、「参加者」）に適用されます。

当レギュレーションは、参加者の資格および行動を規定するために、当大会を運営する株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント（以下、「運営者」）および、その業務委託先（以下、総称して「運営組織」）によって制定されています。

1.1. 当レギュレーションへの同意と当レギュレーションの変更

1.1.1. 当レギュレーションへの同意

すべての参加者は、当レギュレーションに同意する必要があります。

参加者が未成年の場合は、当大会への参加にあたり、事前に保護者の同意を得ていただく必要があります。運営組織は、未成年の方が当大会の都道府県予選に登録したことをもって保護者の同意を得たものとみなします。

1.1.2. 当レギュレーションの変更について

当レギュレーションは変更される可能性があります。変更については当大会公式サイトへの掲載によって通達されます。

1.2. 当大会についての説明

1.2.1. 試合構造・実施期間

当大会は、2020年3月21日から4月19日の間に、オンラインタイムトライアル形式で都道府県予選が実施されます。予選通過者を対象として、7月から8月の間に、全国8ブロックにおいて、ブロック代表決定戦が実施されます。

また、鹿児島県においては、鹿児島県 特別枠が設けられます。全国8ブロックの代表と、鹿児島県 特別枠の代表で、鹿児島県において、本大会が行われます。

1.2.2. ブロック代表決定戦の開催概要

当大会のブロック代表決定戦のブロック分け、開催日付は以下の通りとなります。詳細については、都道府県予選通過者に通知されます。なお、以下の内容については、都合により変更される場合があります。変更については、当大会公式サイトへの掲載によって通達されます。

開催日付	ブロック名	対象都道府県	開催場所
7月25日(土)	北海道・東北	北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	オンライン
8月9日(日)	関東	茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川	オンライン
7月26日(日)	北陸・甲信越	福井・富山・石川・新潟・山梨・長野	オンライン
7月23日(木・海の日)	中部	岐阜・静岡・愛知・三重	オンライン
8月1日(土)	関西	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	オンライン
8月2日(日)	中国	広島・島根・山口・岡山・鳥取	オンライン
7月24日(金・スポーツの日)	四国	徳島・香川・愛媛・高知	オンライン
8月8日(土)	九州・沖縄	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	オンライン

2. 参加者の資格について

当大会は、少年の部(6歳以上~18歳未満)と一般の部(18歳以上)の2部門を設けます。

2.1. 少年の部(6歳以上~18歳未満)

少年の部に参加を希望する選手は、以下の要件をすべて満たす必要があります。

2.1.1. 年齢について

2020年4月2日時点で満6歳以上、満18歳未満である必要があります。

2.1.2. 年齢証明について

本大会出場時に、年齢の確認できる書類を運営組織に提示する必要があります。参加者の年齢証明は以下いずれかの書類をもって行います。

健康保険証
原動機付自動車免許
パスポート
住民基本台帳カード
学生証

2.1.3. 居住地域について

各都道府県予選が行われる都道府県に在住している必要があります。

2.1.4. 居住証明について

本大会出場時に、運営組織に居住証明の可能な書類を提示する必要があります。参加者の居住証明は、住民票（マイナンバーの記載のないもの）、保護者の免許証、保護者の氏名が書かれた公共料金の請求書など現住所を確認できるものをもって行います。

2.1.5. 保護者が署名した同意書の提出について

ブロック代表決定戦、本大会に出場する際、保護者が署名した同意書の提出が必要になります。

2.1.6. 保護者の同伴について

本大会に出場する際、保護者の同伴が必要になります。

保護者の同伴が難しい場合、保護者が署名した同意書を持参のうえ、成年者の同伴で可とします。

2.2. 一般の部（18歳以上）

一般の部に参加を希望する選手は、以下の要件をすべて満たす必要があります。

2.2.1. 年齢について

2020年4月2日時点で、満18歳以上である必要があります。

2.2.2. 年齢証明について

本大会出場時に年齢の確認できる書類を運営組織に提示する必要があります。参加者の年齢証明は以下いずれかの書類をもって行います。

健康保険証

運転免許証

パスポート

住民基本台帳カード

年金台帳

2.2.3. 居住地域について

各都道府県予選が行われる都道府県に在住している必要があります

2.2.4. 居住証明について

本大会出場時に居住証明の可能な書類を運営組織に提示する必要があります。参加者の居住証明は住民票（マイナンバーの記載のないもの）、運転免許証、公共料金の請求書など、現住所を確認できるものをもって行います。

2.2.5. 保護者が署名した同意書の提出について

2020年4月2日時点で、未成年の参加者は、ブロック代表決定戦、本大会に出場する際、保護者が署名した同意書の提出が必要になります。

2.2.6. 保護者の同伴について

高校生である参加者は、本大会に出場する際、保護者の同伴が必要になります。

保護者の同伴が難しい場合、保護者が署名した同意書を持参のうえ、成年者の同伴で可とします。

2.3. 個人情報

当大会への参加に際して提供いただいた個人情報は、当大会の運営、広告宣伝、運営者製品の品質向上のための調査分析、運営者製品の統計資料の作成・今後の企画制作等の参考、運営組織からの連絡のために使用します。また、当大会に関する業務の委託に必要な範囲で委託先に提供する場合を除き、個人情報を参加者および保護者の承諾なく、第三者に提供しません。個人情報の取り扱いに関しては、「プライバシーポリシー」(<https://www.sie.com/privacy.html>)をご確認ください。

当大会のブロック代表決定戦においては、参加者のオンライン ID が同じレースに参加する他の参加者および運営組織にのみ開示されます。

2.4. 運営組織でないこと

当大会は、運営組織の従業員の参加は認められません。

3. 参加者の制限について

当大会の参加者には、以下の制限があります。

3.1. 選手名について

本名でのエントリーとなります。

3.2. スポンサーシップ

運営組織は参加者との個人・法人・団体との間で締結された契約を実行する責任を負いません。また、当レギュレーションに準拠していない契約は固く禁じます。

3.2.1. 参加者は以下のスポンサーシップが禁止されます

運営者、またはその関係者と直接的に競合する企業の製品やサービス

アカウントの販売、共有等の取引を行うウェブサイト

アルコール製品

たばこ製品

あらゆる種類の薬

銃器、拳銃、弾薬の販売業者あるいは製造業者

ポルノまたは運営組織の裁量によりポルノと同等と判断されたもの

ギャンブル(ギャンブルを提供するウェブサイトを含む)

当大会もしくは運営組織とその関連会社のビジネスに有害となる、または特定の参加者が不公平なアドバンテージを得る製品やサービス(ハッキング、ゴールド販売サービス、アカウント・キーの販売者を含む)を提供する個人あるいは団体

3.2.2. 追加合意

運営組織は大会の企画・運営資金を確保するために、特定のゲームタイトルまたはイベントにおいてスポンサーを獲得する権利を維持する必要があります。

そのため、運営者は特定のスポンサーまたは製品分類を"専用"として指定することが可能です。参加者は、運営者から運営者専用と指定されたスポンサーまたは製品分類についてスポンサー契約を締結することは禁止されています。

4. 大会ルール

4.1. ゲームバージョンについて

大会当日の最新バージョンを使用いたします。

ただし、運営組織の判断の下、使用バージョンが変更になる場合があります。

この場合、別途、運営事務局から選手にご案内いたします。

4.2. 都道府県予選（オンライン）

日本時間の3月21日（土）16:00～4月19日（日）23:59の期間に、都道府県ごとにタイムトライアルを行い、少年の部、一般の部から、上位1～10名の予選通過者を決定いたします。各都道府県の予選通過者数は以下の通りとなります。

予選通過者数は、昨年度のオンライン予選の参加人数に基づき決定しています。

ブロック名	都道府県名	一般の部通過者数	少年の部通過者数	
北海道・東北	北海道	8名	6名	
	青森県	1名	2名	
	岩手県	1名	3名	
	宮城県	4名	3名	
	秋田県	1名	2名	
	山形県	1名	2名	
	福島県	4名	2名	
	合計		20名	20名
関東	茨城県	2名	3名	
	栃木県	2名	2名	
	群馬県	2名	1名	
	埼玉県	3名	3名	
	千葉県	3名	3名	
	東京都	4名	4名	

	神奈川県	4名	4名
	合計	20名	20名
北陸・甲信越	福井県	2名	2名
	富山県	3名	4名
	石川県	4名	2名
	新潟県	5名	4名
	山梨県	2名	2名
	長野県	4名	6名
	合計	20名	20名
中部	岐阜県	2名	2名
	静岡県	5名	6名
	愛知県	10名	8名
	三重県	3名	4名
	合計	20名	20名
関西	滋賀県	2名	3名
	京都府	2名	3名
	大阪府	7名	6名
	兵庫県	6名	6名
	奈良県	2名	1名
	和歌山県	1名	1名
	合計	20名	20名
中国	広島県	7名	5名

	島根県	1名	1名
	山口県	3名	3名
	岡山県	7名	10名
	鳥取県	2名	1名
	合計	20名	20名
四国	徳島県	5名	3名
	香川県	4名	5名
	愛媛県	8名	7名
	高知県	3名	5名
	合計	20名	20名
九州・沖縄	福岡県	9名	9名
	佐賀県	1名	1名
	長崎県	1名	1名
	熊本県	3名	3名
	大分県	2名	1名
	宮崎県	1名	1名
	鹿児島県	3名	4名
	沖縄県	1名	1名
	合計	21名	21名

4.2.1. レギュレーション

使用コース	オートポリス
-------	--------

コンディション	12:00 快晴
使用車種	Gr.3 クラス
使用タイヤ	レーシングハード
BoP(バランスオブパフォーマンス)	有効
セッティング	禁止
ショートカットペナルティ	弱い
壁接触ペナルティ	なし
雨・コース外でのグリップ低下	リアル
壁接触時の進行方向補正	なし
コースアウト時の置き直し	なし

※ ドライビングオプション内の設定項目は、カウンターステアアシストのみ使用禁止とします。

4.2.2. 都道府県予選（オンライン）のタイムについて

都道府県予選で記録したタイムは、本大会のグループ分け・グリッド順を決定する際に使用する可能性があります。

4.3. ブロック代表決定戦

ブロックごとに、少年の部、一般の部でそれぞれ都道府県予選通過者によるレースをオンラインにて行い、上位 1~5 名ずつ、計 2~10 名が各ブロック代表に選出されます。各ブロックの本大会選出者数は以下の通りとなります。本大会選出者数は、昨年度のオンライン予選の参加人数に基づき決定しています。

ブロック名	本大会選出数 (一般)	本大会選出数 (少年)	対象都道府県
北海道・東北	2 名	3 名	北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島
関東	5 名	5 名	茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川
北陸・甲信越	2 名	2 名	福井・富山・石川・新潟・山梨・長野

中部	3名	3名	岐阜・静岡・愛知・三重
関西	3名	3名	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山
中国	1名	1名	広島・島根・山口・岡山・鳥取
四国	1名	1名	徳島・香川・愛媛・高知
九州・沖縄	2名・鹿児島特別 枠 1名	1名・鹿児島特別 枠 1名	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄
合計	20名	20名	

4.3.1. 予選レース

各ブロック、部門別に参加者を2グループに分け、それぞれレースを1回行います。各グループ上位5名が決勝レースに進出し、下位5～6名が、敗者復活レースに進出します。

レース前にグリッド決定予選を実施します。

4.3.2. 敗者復活レース

各ブロック、部門別に予選レースの各グループ下位5～6名、計10～11名でレースを実施し、上位2名が決勝レースに進出します。

レース前にグリッド決定予選を実施します。

4.3.3. 決勝レース

各ブロック、部門別に12名でのレースを1回行い、上位1～5名がブロック代表に選出されます。レース前にグリッド決定予選を実施します。

4.3.4. 予選レース・敗者復活レースのレギュレーション

使用コース	オートポリス
コンディション	12:00 快晴
周回数	8周
使用車種	Gr.3 クラス
使用タイヤ	レーシングハード

最大同時走行人数	11名
BoP(バランスオブパフォーマンス)	有効
スタート方式	ローリングスタート
スリップストリーム	リアル
ブースト	無効
セッティング	禁止
雨・コース外でのグリップ低下	リアル
レース中のゴースト化	なし
ショートカットペナルティ	弱い
壁接触ペナルティ	なし
サイドプレスペナルティ	あり
フラッグルール	オン
燃料消費倍率	1倍
タイヤ摩耗倍率	3倍

※ ドライビングオプション内の設定項目は、カウンターステアアシストのみ使用禁止とします。

【予選レース・敗者復活レース】グリッド順

各レースの参加者で、グリッド決定予選を実施いたします。

グリッド決定予選のレギュレーションは、下記の通りです。

10分間のタイムトライアルを実施してグリッドを決定します。

タイムトライアル中の燃料消費倍率	なし
タイムトライアル中のタイヤ摩耗倍率	3倍

【予選レース】グループ分け

都道府県予選のタイムをもとにグループ分けを決定します。

<Aグループ>

予選タイム 1位、3位、5位、7位、9位、11位、13位、15位、17位、19位

<Bグループ>

予選タイム 2位、4位、6位、8位、10位、12位、14位、16位、18位、20位

4.3.5. 決勝レースのレギュレーション

使用コース	レイク・マジョーレ・サーキット
コンディション	11:30 快晴
周回数	8周
使用車種	Gr.3 クラス
使用タイヤ	レーシングハード
最大同時走行人数	12名
BoP(バランスオブパフォーマンス)	有効
スタート方式	ローリングスタート
スリップストリーム	リアル
ブースト	無効
セッティング	禁止
雨・コース外でのグリップ低下	リアル
レース中のゴースト化	なし
ショートカットペナルティ	弱い
壁接触ペナルティ	なし

サイドプレスペナルティ	あり
フラッグルール	オン
燃料消費倍率	1 倍
タイヤ摩耗倍率	3 倍

※ ドライビングオプション内の設定項目は、カウンターステアアシストのみ使用禁止とします。

【決勝レース】グリッド順

予選レース通過者 12 名で、グリッド決定予選を実施いたします。

グリッド決定予選のレギュレーションは、下記の通りです。

10 分間のタイムトライアルを実施してグリッドを決定します。

タイムトライアル中の燃料消費倍率	なし
タイムトライアル中のタイヤ摩耗倍率	3 倍

4.3.6. ブロック代表の繰り上がり出場について

やむを得ない事情で、ブロック代表に選出された選手が、本大会への出場を辞退した場合には、決勝レースの着順に基づいて、出場選手に順次連絡し、ブロック代表を決定いたします。なお、状況により、8.に定める移動交通宿泊のサポートが行われない場合があります。

4.3.7. ブロック代表決定戦におけるレースの再スタートについて

レース開始後に離脱者が発生した場合は、以下の条件にて各レースの再スタートを実施いたします。

1. レースへのエントリーからウォームアップ走行の間に、離脱者が発生した場合

既定の時間までにレースに参加できない選手が発生した場合は、一度だけレースを再スタートします。

二度目のレース開始後は、参加できない選手が発生した場合でも、そのままレースを実施します。

2. 予選（タイムトライアル）開始以降に、離脱者が発生した場合

レース参加者の過半数以上が、レースから離脱した場合は、再度レースをやり直します。

離脱した人数が、参加者の半数以下の場合は、そのままレースを続行いたします。

※再レースを実施する場合は、予選（タイムトライアル）終了後であった場合でも、再度予選（タイムトライアル）からやり直しとなります。

4.3.8. レース実施日の変更が発生する場合について

レースの予選（タイムトライアル）開始以降に、レース参加者の過半数以上が、レースから離脱し、再レースが発生した場合は、以下の内容で、レースを別の日程に振替えて実施します。

予選レース

各部門ごとに、予選レース A グループ、B グループの両方で、再レースが発生した場合は、その部門の結果が確定していないレースを全て別日に振り替えて実施します。予選レース A グループ、B グループの片方でのみ、再レースが発生した場合は、当日中に再レースを実施します。

敗者復活レース

各部門ごとに、予選レース A グループ、B グループのどちらかで、すでに再レースが発生している状態で、敗者復活レースの再レースが必要になった場合は、その部門の敗者復活レースと決勝レースを別日に振り替えて実施します。予選レースにて、再レースが発生していなかった場合は、当日中に敗者復活レースの再レースを実施します。

決勝レース

再レースが発生した場合は、その部門の決勝レースを別日に振り替えて実施します。

また、ネットワークのトラブルなどで、大会当日中にレースを実施することが困難であると、大会運営組織が判断した場合、レースを別の日程に振替えて実施する場合があります。

4.4. 鹿児島県 特別予選大会

ブロック代表決定戦（九州・沖縄ブロック）と合併し開催となります。ブロック代表決定戦（九州・沖縄ブロック）にて、九州・沖縄ブロックからの本大会選出者（一般の部 2 名、少年の部 1 名）に加え、鹿児島県代表選手の中で最上位となった選手を、鹿児島県特別枠として、各部門 1 名ずつ本大会に選出します。

選出基準は、九州・沖縄ブロックの代表権が優先となりますので、仮に一般の部において鹿児島県代表の選手が 1～2 位に入った場合、その選手は九州・沖縄ブロックの代表として選出され、3 位以下の鹿児島県代表選手の中での最上位選手が鹿児島県特別枠を獲得します。

4.5. 本大会

レギュレーションについては、後日発表を行います。

5. 大会使用機材について

5.1. ソフトウェアおよびハードウェア

5.1.1. 本大会において運営側が手配する機材について

PlayStation®4 Pro CUH-7200BB01
DUALSHOCK®4 CUH-ZCT2J
ハンドルコントローラー： Thrustmaster T-GT
シート： FIA グランツーリスモ チャンピオンシップ公式レースシート
モニター： BRAVIA FW-55BZ35F

5.1.2. 参加者が持ち込みできる機材について

参加者が持ち込みできる機材は以下の通りです。

ヘッドフォン・ヘッドセット・レーシンググローブ・レーシングシューズ

また、参加者が持ち込んだ機材については、規定の時間内に動作可能なよう参加者自らが設定を行うものとし、運営組織は一切の介助を行わず、動作に関する責任を負いません。

5.1.3. 運営組織が手配する機材の不具合時の対応について

試合中の機材不具合時の対応は以下の通りとします。参加者が持ち込んだ機材については、不具合発生時の対応を保証しません。

スタート前に不具合が発生した場合

試合を一時停止、機材の入れ替えを含む不具合の対応を実施します。不具合解消後、試合を再開します。

2名以下の機器不具合時

試合を続行し、試合終了時に機材の入れ替えを含む不具合の対応を実施します。

3名以上の機器不具合時

試合を一時停止、機材の入れ替えを含む不具合の対応を実施します。不具合解消後、レースを再スタートします。

5.2. 試合中の電子機器の使用制限

参加者が試合中、試合エリアにおいて、PC、携帯電話、スマートフォン、タブレットを含めた情報機器端末を使用することを一切禁止します。

5.3. 衣服について

予選期間中は、試合会場で衣服の指定はありません。但し、当大会にそぐわない衣服と運営組織が判断した場合は、指定の衣服を着用いただく場合があります。

5.4. 審判の役割について

ブロック代表決定戦、本大会会場には審判が存在します。試合中の判断はすべて審判にゆだねられます。

5.4.1. 試合の中断

試合は審判の判断で中断されることがあります。

試合が中断された場合、即時審判の指示に従うものとします。

5.4.2. 再試合

試合は審判の判断で再試合を行う場合があります。

5.4.3 ペナルティについて

自動判定によるショートカットペナルティ、接触によるペナルティが科されます。

また、自動判定のペナルティとは別に、主催者が悪質な走行と認めた走行について、レース後にタイム加算ペナルティ、あるいは失格の判定を下す場合があります。

6. 行動規範

全ての参加者は運営組織、関係者、報道者、他の参加者、観客やファン等に配慮した態度で行動することが求められます。参加者はいかなる時も自己の誠実性の最高基準を保ち、スポーツマンシップに則って行動しなければなりません。また、参加者は、運営組織、関係者、報道者、他の参加者、観客やファン等とのコミュニケーションにおいて、スポーツマンらしい礼節をわきまえて接することが求められます。

6.1. チート

参加者は、いかなる時も全力で取り組むことが求められます。いかなる参加者によるいかなるチート行為も許容されることはありません。試合の結果が参加者の真価のみに基づいて決定されるよう、全ての参加者は試合に影響を及ぼしたり、試合を操作したりするような行為は禁じられています。

6.1.1. チートの例:

- ・共謀、八百長、またはその他意図的に試合の結果を改ざんするアクション、または改ざんしようと試みる行為
- ・他の選手によるゲームへの接続を妨害する行為
- ・ゲームのバグを意図的に使用して有利な立場を得ようとする行為
- ・エントリープロセスまたは大会の運営に干渉する行為
- ・試合中に観客モニター、参加者モニター、ライブストリーミングの閲覧を試みる行為

参加者は、当大会において、ギャンブルやゲーム結果の買収を持ちかけられた場合は、直ちに運営組織へ報告するものとします。参加者が共謀行為を実行または促進することは堅く禁じられています。共謀とは、2名またはそれ以上の参加者または非参加者が敵対する参加者に不利となるよう協定を結ぶことを指します。共謀は以下のような行為を含みますが、これに限定されません。

- ・ソフトプレイ、つまり2名またはそれ以上の参加者間で、試合においてお互いを攻撃、妨害、または全力を尽くさない合意をすること
- ・当レギュレーションおよび運営組織が指定する規則以外の規則への合意
- ・所属するチーム以外の参加者と、報酬の分割について、協定を事前に結んでおくこと
- ・試合中に、他の共謀者や参加者へ 合図を送信し、または他の共謀者や参加者 から、合図を受信すること
- ・報酬、またはその他の理由により意図的に試合に負ける、またはパフォーマンスを落とすこと
- ・他の参加者に上記の行為を勧誘すること

6.2. ギャンブル

当大会の試合結果に関するギャンブルは、運営組織の誠実性と社会的信頼への深刻な脅威となり得ます。参加者はいかなる試合においても、ギャンブルを行う、またはそれを試みる行為はかたく禁じられています。当レギュレーションは、参加者が他人のギャンブルに関与すること、参加者の代理として当大会でギャンブルの勧誘をすること、またはその他の個人に対して当大会の試合においてギャンブルの勧誘をすることも禁じています。

6.3. 違法・非道徳的な行為

参加者は、当大会（ゲーム、メディアイベント、サイン会、写真会、スポンサーイベント、その他当大会関連、または当大会の一部として行われるイベント全てを含む）への参加に適用される全ての法律を遵守することが求められます。

当大会期間中に参加者が、自身の公然での信用を失墜させる行為、スキャンダルもしくは嘲笑の対象となる行為、コミュニティにショックを与えたり不愉快にさせる行為、運営者の製品やサービス、スポンサーの不利益となるような行為をすること、またはその様な状況に関与することを強く禁じています。

6.4. 賄賂

参加者が、試合の結果を買収するようなサービスなど、試合の結果に関連して期待や提供された、または提供されるサービスのためにギフトや報酬を申し出ることや受け取る行為は強く禁じられています。

6.5. アンチハラスメント

運営組織は、いかなる嫌がらせや差別も存在しない競争環境の提供に尽力します。これを実現するため、当大会とその関連イベントに従事する参加者は人種、肌の色、宗教、性別、国籍、年齢、障害、性的指向、その他法律によって保護されるステータスや特性に基づいた嫌がらせや差別行為に関与することを強く禁じられています。

6.6. なりすまし

参加者は大会期間中になりすまし行為(自身以外のアカウントを使用してプレイすること)への関与、または勧誘をしてはいけません。

6.7. 意図的な接続切断

参加者はゲームから意図的に接続を切断する行為やその勧誘をしてはなりません。

6.8. 中傷禁止

参加者は、スポーツマンシップに則ったマナーで自身の意見を表現する権利を常に有します。争いや参加者による違反は、情報が公に開示される前に必ず運営組織による調査が行われなければいけません。

参加者はいかなる場合でも、運営組織、関係者、またはフランチャイズを含むその製品やサービスについて虚偽、中傷的、名誉毀損、侮辱的、軽蔑的な批評、コメント、または発言を投稿、公表し、他人、他企業またはソーシャルメディアに発信することは禁じられています。

法律が要求する範囲を超えない限り、本セクションはいかなる場合でも、関連する法律や管轄裁判所、または公認の政府機関の有効な命令を参加者が遵守することを制限・妨げるものではありません。

6.9. スポーツマンシップ

参加者は試合、当大会（試合、メディアイベント、サイン会、写真会、スポンサーイベント、その他当大会関連、または当大会の一部として行われるイベント全てを含む。本項において以下同じ。）に参加している全ての個人と運営組織に対し、敬意を払って接することが求められます。

参加者は当大会に関連して、非常識、無礼、下品、侮辱的、暴力的、脅迫、嘲笑的、破壊的、敵意が感じられる、口汚い、誹謗中傷的、またはその他不適切な行為や発言、ならびに嫌悪や差別を促進または扇動する行為や発言を固く禁じられています。参加者はこれらの禁じられたコミュニケーションを投稿、送信、発信、その他いかなる手段でも公に表現するために、運営組織やその関係者が提供する施設、サービスまたは機器を使用してはいけません。

6.10. 反社会的勢力

参加者は暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなったときから5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロ又は特殊知能暴力集団、その他これらに準ずる者（以下、反社会的勢力）に自身が該当することおよび以下のいずれかに該当する関係を有することは禁じられています。

- ・反社会的勢力に対して資金等の提供又は便宜を供用するなどの関与をしていると認められる行為
- ・自己もしくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもってする等不当に反社会的勢力を利用していると認められる行為
- ・その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していると認められる行為

6.11. 機密情報

参加者は、当大会に関して知り得た一切の情報（以下「機密情報」といいます）を機密として保持するものとし、運営組織の事前の書面による承諾がない限り、ソーシャルメディアを含め、いかなる方法を用いても開示することおよび当レギュレーションの目的の範囲外に利用することは禁じられています。参加者が機密情報を開示または当レギュレーションの目的の範囲外に利用しようとした場合、罰則あるいは法的措置の対象になります。

7. 違反行為

7.1. 違反行為の調査

公正かつ自由な競争に対する当大会の完全性と運営側の評判を保つため、運営組織は当レギュレーションが遵守されていることをモニターし、当レギュレーション違反の可能性がある場合はそれを調査し、次条の規定に従い罰則を科す権利を有します。これらの調査が行われる場合において、参加者は運営組織に最大限協力するものとします。

7.2. 報告義務

参加者が、当大会において、第 6 条 行動規範に反する事実を認識した場合には、直ちに運営組織へ報告するものとします。

7.3. 違反行為に対する警告・罰則

参加者が当レギュレーションに違反していると運営組織が判断した場合、運営組織は独自の裁量で参加者に対し警告を行い、出場の取り消しなどのペナルティを科す可能性があります。

これに加え、運営組織は、警告およびペナルティの事実ならびに対象者を公表する権利を有します。

8. 本大会への出場時の移動交通費・宿泊費について

当大会のブロック代表となった参加者ならびに少年の部の参加者に同伴する保護者もしくは成年者 1 名または一般の部の参加者のうち高校生である参加者に同伴する保護者もしくは成年者 1 名については、以下の通り、移動交通費・宿泊費のサポートが行われます。当該サポートの詳細は、各ブロック代表者に個別に通知されます。なお、参加者が、当レギュレーションに違反した場合、サポートを停止します。

8.1. 居住地から運営組織が指定する集合地点までの公共交通機関を使用しての移動交通費

8.2. 本大会期間中、運営組織が指定するホテルの宿泊費

9. コンテンツの作成

9.1. コンテンツ

当大会では、録音、録画、インターネット配信、写真撮影等を行います。また、運営者は参加者に対し、参加者の写真の提供を依頼することがあります。

それらを使用して運営者が作成した素材等（以下「コンテンツ素材」という）に関する著作権その他一切の権利（著作権法上 27 条及び 28 条に定める翻訳権、翻訳権および二次的著作物の利用に関する権利を含み、以下「著作権等」という）は運営者に帰属するものとします。従って、コンテンツ素材につき、運営者は、秘密保持義務等の義務を負うことなく、参加者に事前に通知することなく、また、改めて承諾を得ることなく、運営者の判断により無償かつ自由に、運営組織または第三者をして、複製、加工、削除、編集、頒布、二次著作物の作成その他の方法で利用することができるものとします。運営組織は、コンテンツ素材の削除依頼には対応しないものとします。

9.2. 選手情報

運営組織は、『グランツーリスモSPORT』、当大会関連、運営者およびその関連会社の広告宣伝等の目的で、各メディアにおいて、選手の情報（肖像、氏名（芸名）、音声、略歴等を含む）を選手に事前に通知することなく、また、改めて承諾を得ることなく、運営組織の判断により無償かつ自由に利用することができるものとします。

9.3. 写真、映像の使用について

参加者および保護者等は、ブロック代表決定戦少年の部の他の参加者のオンライン ID を SNS や配信などで公開することを禁止いたします。運営組織が公開した写真や映像（第 9.1 条に定めるコンテンツ素材を含み、以下「公開コンテンツ」という）は、参加者から提供されたものを除き、運営者の許可なく使用することを禁止します。

ただし、動画の配信プラットフォームの既存機能を使用することについての制限はありません。

例 1：Twitch のクリップ機能を使用する

運営者へ個別に許可を得る必要はありません。

例 2：YouTube の動画をダウンロードしてカット編集する

運営者へ個別に許可を得る必要があります。

9.4. 商用利用の禁止について

公開コンテンツおよび当大会に関連する動画、静止画、音声、文字情報の商用利用を禁止します。

10. 免責事項

参加者は、自らの責任において当大会に参加するものとします。運営組織は、参加者または第三者に対して、当大会の内容、および当大会への参加を通じて得られる情報の内容について、その完全性、正確性、確実性、有益性などについて、運営組織に故意または重大な過失がある場合をのぞき、一切の責任を負わないものとします。

参加者は、都道府県予選に参加するために必要なあらゆる機器および通信手段（以下「利用環境」といいます。）を自らの責任と費用において整備するものとし、運営組織は参加者の利用環境について一切関与せず、また一切の責任を負わないものとします。

公開コンテンツに関して参加者が何らかの損害を被った場合であっても、運営組織は運営組織に故意または重大な過失がある場合をのぞき、一切その責任を負わないものとします。

運営組織は、当イベントに関し参加者間または参加者と第三者との間で生じたトラブル（違法または公序良俗に反する行為の提案、名誉毀損、侮辱、プライバシー侵害、脅迫、誹謗中傷、いやがらせなどをいいますが、これらに限りません）について、一切の責任を負わないものとします。

運営組織は、当大会への参加または参加できなかったことに関して、参加者がいかなる損害について、運営組織に故意または重大な過失がある場合をのぞき、一切の責任を負わないものとします。

当大会の中止、変更等が生じたことにより参加者に損害が発生しても、運営組織は運営組織に故意または重大な過失がある場合をのぞき、一切の責任を負わないものとします。

10.1 分離性

当レギュレーションのいずれかの条項が無効とされた場合であっても、当レギュレーションの他の条項は、継続して完全な効力を有するものとします。

10.2 準拠法および管轄裁判所

当大会への参加ならびに当レギュレーションの解釈および適用は、日本法に準拠するものとします。また、当大会への参加および当レギュレーションに関わる全ての紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とするものとします。

11. 当大会に関するお問い合わせ（個人情報に関するお問い合わせを含む）

「全国都道府県対抗 e スポーツ選手権 2020 KAGOSHIMA グランツーリスモ S P O R T 大会運営事務局」

gts_kokutai_support@groovesync.com

12. 同意

私は、当レギュレーションを全て読み内容を理解し、当レギュレーションに従うことに同意いたします。私が参加者の保護者である場合、参加者が当レギュレーションに従うことを保証するものとします。